



Kawasaki Robotics e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する隔月の電子情報誌です。

新年のご挨拶（ロボットセンター長）

新年おめでとうございます。

今年は米国の政権交代等による政治的な変化が世界経済にも大きな影響を及ぼすことが予想されます。しかし、人工知能（AI）技術や、物とインターネットがつながる IoT 技術による社会変革の流れは変わらず、ロボット技術が産業分野のみならず、社会の様々な分野で活用され、人とロボットの新たな可能性が広がることを予想しています。



昨年、わたしたちは、その可能性の一端をご紹介するショールーム「Kawasaki Robostage」を8月6日東京お台場にオープンしました。たくさんの方々に来場いただき、11月13日には来場者10,000人を達成することができました。人とロボットの協調・共存の実現をメインコンセプトにしたショールームで、人共存可能な双腕スカルロボット duAro による様々な適用を、多くの方々に見て、体験していただくことでロボットへの理解を少しでも深めていただけたことは、この上ない喜びです。

本年は、この新たな可能性に向けて、株式会社メディカロイドから産業用ロボットをベースに医療向けに応用した製品、アプライドロボットを発表する予定です。これ以外にも新たな製品・技術を提案し、「Kawasaki Robostage」をより魅力的なショールームにしていく所存です。

本年もどうぞ皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

川崎重工業株式会社 常務執行役員
精密機械カパニ・ロボットビジネスセンター長
橋本康彦

詳しくはこちらを⇒ <https://robotics.kawasaki.com/ja1>

アーク溶接ロボット新発売

カワサキは新型アーク溶接用ロボット BA006L を発売しました。（写真右）

この新型 BA006L は最大リーチが 2,036mm もあり、大きいワークの溶接も余裕をもって行うことができます。（現行機種 BA006N の最大リーチは 1,445mm）。また、手首が中空構造になっているため、ケーブルやホースの取り回しがなく、干渉がない上、設置も容易です。

カワサキのアークロボットは手首中空構造の BA シリーズが 2 機種、通常手首構造の RA シリーズが 5 機種揃い、使用用途や適用に最適なロボットがお選びできます。



詳しくはこちらを⇒ <https://robotics.kawasaki.com/ja1/products/robots/arc-welding/BA006L/>

